



# 霜月祭り

## 今こそ見せる

飯田市遠山郷(上村・南信濃)の「遠山の霜月祭り」(国重要無形民俗文化財)を上村上町地区で続けている保存会が、本番に向けて舞や囃子の練習に熱を入れている。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般観光客の見学は受け入れないが「新型コロナウイルス収束への願いを込めたい」との思いで臨む。



囃子に合わせ、舞の練習に励む古瀬さん(左)と松下さん(左から2人目)

霜月祭りは、日照時間が短くなり太陽の力が弱まる旧暦11月(霜月)に八百万の神を招いて生命の再生などを願う。12月11日から12日にかけて祭りを行う上町では、感染防止対策として囃子の笛に飛沫の拡散を防ぐシールドを付けたリ、舞い手同士が接近しないよう舞を構成し直したりするなど工夫。参加者を絞り、祭事は一通り行う。

遠山郷・上村上町の保存会 来月へ練習

## 新型コロナの収束も願う

に打ち込んでいる。若手会員の古瀬凌哉さん(22)と飯田市上村の松下恵吾さん(19)は同市千代には、会員が「腰を落として背筋を伸ばして」「刀で天を突き刺すように」と指導。古瀬さんは「霜月祭りは人生の一部。疫病退散を願いたい」と話し、松下さんも「神様に奉納することに集中したい」と意気込んでいる。

上町の祭りを開く正八幡宮の宮司、宇佐美秀臣さん(62)は「先人も疫病退散を願って祭りを続けてきた記録がある」と説明。「コロナの感染が収束に向かっているからこそ、(祭りを)行わなければならない」と話している。

(2020年11月25日朝刊・飯田 伊那面)

## 霜月祭り 今こそ見せる

### 解答例

年 組 番 名前

国の重要無形民俗文化財に登録されている「遠山の霜月祭り」の開催に向け、保存会の人たちが練習をしました。新型コロナウイルス感染拡大が続く中、どんな願いを込めているのか、記事を読んでみましょう。

①霜月祭りは、何を願う祭りですか。

【答え】 日照時間が短くなり太陽の力が弱まる旧暦11月（霜月）に八百万の神を招いて生命の再生などを願う

②上村上町地区の祭りは、何月何日から何日にかけて行われますか。

【答え】 12月11日から12日にかけて

③若手会員の古瀬凌哉さんは、何と話していますか。

【答え】 霜月祭りは人生の一部。疫病退散を願いたい

④正八幡宮の宮司、宇佐美秀臣さんは祭りについて、どんな記録があると説明し、何と話していますか。

【答え】 先人も疫病退散を願って祭りを続けてきた記録

コロナの感染が収束に向かっていないからこそ、（祭りを）行わなければならない

⑤あなたの住む地域でどんな祭りが続いているか、調べてみましょう。

【答え】 〔例〕 浦安の舞 獅子舞 ○○踊り など